

愛知県の学校コードに係る付番方針について

「学校コードの取り扱いについて」に基づき、新たに学校コードを付与する際の付番方針を以下のとおり定める。

1 学校番号の構造

- ・学校コードの構成要素である学校番号（全7桁）の付番について、1000000 から1ずつ加算した、一意の学校コードを（1）（2）の条件により付番する。
- ・その際、1000000 から9999999 までの範囲の数字を使用する。

（1）市町村立の小学校・中学校【参考】参照

令和2年5月1日現在の学校については、次の条件により昇順に並べ付番する。

ア 市町村コード

イ 学校調査番号又は市町村の希望順（任意）

（2）その他の学校

原則学校調査番号順に付番する。

2 学校コードの付与

学校コードについては、「学校コードの取り扱いについて」に基づき、本付番方針に従い付番した学校番号を基礎として文部科学省において付与するものを用いる。

3 学校コードの変更

学校コードは、一旦付与した後は変更しないことが基本であるが、例外として、

- （1）学校番号以外の学校コードを構成する要素（学校種、都道府県番号、設置区分）に変更が生じた場合、
 - （2）その他、学校コードを運用する上で①に準ずる真にやむを得ない事由が生じた場合、
- に該当する場合であり、学校コードを変更する必要があると思慮するときには、文部科学省に対し、学校コードの変更の必要性について申し出ることとする。

【参考】(1) 市町村立の小学校・中学校の付番について

- ・①市町村番号②学校調査番号の優先順で昇順に並べ、1000001 から順に付番
- ・市町村の希望がある場合は、学校調査番号の代わりに、市町村の希望順を用いる
- ・令和2年5月2日以降の新設校については、当該学校種で付番済の一番大きい学校番号に1を加算して付番する※

学校調査番号順		学校番号付番イメージ			
市町村番号	学校調査番号	学校番号	市町村番号	学校調査番号	市町村の希望順(任意)
103	0001	1000001	101	0004	—
102	0003	1000002	101	0006	—
101	0004	1000003	102	0003	—
102	0005	1000004	102	0005	—
101	0006	1000005	103	0019	1
103	0018	1000006	103	0020	2
103	0019	1000007	103	0001	3
103	0020	1000008	103	0018	4
103	0030	1000009	103	0030	5
(中略)		(中略)			
220	0300	1000999	220	0300	—
220	0321	1001001	220	0321	—
		1001002	101	新設	

同一市町村番号について、原則学校調査番号昇順に並べる

市町村で希望がある場合は、当該順に並べる

※ 令和2年5月2日以降新設校の学校番号は、市町村内で飛び番となる。このとき、市町村番号ごとに学校番号順で抽出すると、新設校は最後に位置する。

市町村で、独自に取り扱う学校順を持ち、かつ、学校番号と並び順をそろえたい場合には、令和2年5月2日以降新設校は、最後に配置頂くと並び順は揃う。(既存の学校について、学校調査番号順と異なる並びとしたい場合には、今回市町村の申し出により、市町村の希望順を反映する。)

市町村番号ごとに学校番号順抽出イメージ			
学校番号	市町村番号	学校調査番号	市町村独自に取り扱う学校順
1000001	101	0004	1
1000002	101	0006	2
1001002	101	新設	3